

## NOVA の「基礎危機応答訓練」の実際

### 1 概要

この章においては、NOVA の「基礎危機応答訓練」がどのように行われるかについて、具体的に紹介しようとするものである。具体的には、先に述べた通り、報告者が参加した、平成 16 年 3 月 22 日より 26 日までの 5 日間に亘り、アメリカ合衆国オレゴン州ウィルソンビルで開催された「NOVA 全国危機応答チーム基礎訓練講座」の様子を紹介することとする。

講師は、NOVA の事務局長である Marlene Young の他 2 名が担当した。参加者は、26 名であり、その多くは地元オレゴン州内の郡の検察官事務所の被害者支援部門における被害者支援担当員であったが、その他警察関係者や学校関係者も数名参加していた。テキストとは、Marlene Young 執筆による、The Community Crisis Response Team Training Manual (Third Edition)<sup>(4)</sup>である。これは第 3 章で紹介した資料(第 2 版)を、「2001 年 9 月 11 日のテロリストによる攻撃」の直後に派遣された NOVA の危機応答チームによる活動の経験を参考にして改訂されたものである。なお、書名は「マニュアル」となっているが、本書の最初に解説されているように、「実務用参照マニュアル」と「教科書」の両方の性格を有するものである。

### 2 内容

上記の「マニュアル」は、1,000 ページ以上のバインダー式の資料であり、ここにその内容の詳細を紹介することは無理であり、また本報告書の性格上からも必要は無いであろう。そこで、ここではその目次の項目のみを掲げることとする。

はじめに

- 第 1 章 危機応答の概観
- 第 2 章 心的外傷の反応 内部要因
- 第 3 章 心的外傷の反応 外部要因
- 第 4 章 危機介入
- 第 5 章 集団的危機介入
- 第 6 章 死亡および死亡告知
- 第 7 章 長期的ストレス反応
- 第 8 章 心的外傷後のカウンセリング
- 第 9 章 精神的・宗教的な問題
- 第 10 章 危機応答チームの編成

---

<sup>(4)</sup> Marlene Young, The Community Crisis Response Team Training Manual, 1987, 1994, 1998, 2002, by the National Organization for Victim Assistance

- 第 11 章 危機的状況におけるメディアへの対応
  - 第 12 章 危機発生前の現地における計画
  - 第 13 章 集团的危機介入会合の模擬訓練
  - 第 14 章 クラス報告：危機的状況における地域社会への応答計画
  - 第 15 章 文化をめぐる問題
  - 第 16 章 年齢構成 児童
  - 第 17 章 年齢構成 高齢者
  - 第 18 章 援助者のストレス反応
  - 第 19 章 集团的危機介入の実践
  - 第 20 章 ボランティア専門職としての危機応答担当者
- 付録

### 3 日程

上記の内容は、5 日間にわたる 40 時間の講義および演習において教育される。その日程および時間割は以下のとおりである。

#### ( 1 ) 第 1 日

8 時 30 分 - 9 時 30 分

導入

9 時 30 分 10 時 30 分

危機応答チームについての入門的知識

- ビデオテープ
- 練習：「大惨事」をめぐる諸問題
- 休憩

10 時 30 分 11 時 00 分

ビデオテープの内容についての議論

11 時 00 分 12 時 00 分

危機反応の概略

- 心的外傷の概要
- 個人の反応の適応能力

12時00分 2時00分

昼食および小グループに分かれてのディスカッション

2時00分 3時30分

心的外傷の反応：内的要因

- 危機に対する身体的反応
- 危機に対する情緒的反応
- 心的外傷に対する脳の反応

3時30分 3時45分

休憩

3時45分 5時30分

心的外傷の反応：外的要因

- 時間的要素
- 空間的要素
- 役割に関する要素
- 大惨事の型
- 大惨事の与える影響

(2) 第2日

8時30分 - 9時30分

危機介入

- 危機介入の目的と意義
- 危機介入の諸要素
  - 「安全と安心」
  - 「表出と確認」
  - 「予測と準備」

9時30分 10時45分

危機介入の練習（小グループ）および休憩（小グループ毎）

10時45分 12時00分

集団的危機介入

- 集団的介入の目的
- 基本的モデルの比較

- NOVA モデルの説明

12時00分 1時30分

昼食および危機応答チームについてのディスカッション（小グループ毎）

1時30分 2時30分

死をめぐる諸問題の概観

2時30分 3時15分

死の与える影響

- 死に対する反応
- 死に関する不安
- 怒り
- 罪悪感
- 羞恥心

3時15分 3時30分

休憩

3時30分 4時00分

死と喪失

- 悲嘆のプロセス
- 悲嘆の型
- 心的外傷を生じさせる悲嘆
- 援助のヒント

4時00分 5時00分

死亡告知

- 死亡告知の技法
- 援助のヒント

（3）第3日

8時30分 9時30分

長期的ストレス反応

- 概観

- 心的外傷後ストレス反応
- 長期的危機反応

9時30分 10時30分

ビデオテープ

10時30分 10時45分

休憩

10時45分 11時30分

心的外傷後カウンセリング

- 危機応答担当者による心的外傷後カウンセリングの諸要素  
教育、経験および行動力  
語り、再確認および付託  
行動、支援および実現

11時30分 12時30分

危機における宗教的問題

- 宗教的問題の重要性
- 宗教的問題をめぐる議論のガイド
- 援助のヒント

12時30分 1時30分

昼食

1時30分 2時45分

地域危機応答チームの編成

- 危機応答チームの目的
- 危機応答チームの準備
- 現場における応答の過程
- 危機後の点検

2時45分 3時15分

メディアへの対応

3時15分 3時30分

休憩

3時30分 4時30分

地域における危機応答チームの準備

4時30分 5時30分

危機応答チームについて的小グループ打ち合わせ

(4) 第4日

8時30分 10時30分

危機介入の模擬訓練

- 模擬訓練の目的
- 模擬訓練の活動
- 模擬訓練後の議論

10時30分 10時45分

休憩

10時45分 11時00分

質疑応答

11時00分 12時00分

事例研究の発表

- 発表の目的
- 発表と批評
- 成果

12時00分 1時00分

昼食

1時00分 2時00分

事例研究の発表(続き)

2時00分 3時30分

文化をめぐる諸問題

3時30分 3時45分  
休憩

3時45分 5時30分  
年齢をめぐる問題

(5) 第5日

8時30分 10時00分  
復習と質問

10時00分 10時15分  
休憩

10時15分 11時30分  
援助者のストレス

- ストレス反応の理論  
燃え尽き  
代理受傷  
「同情による疲れ」
- ストレス反応の軽減
- 有効な対応方法

11時30分 12時30分  
集団的危機介入の練習

12時30分 1時30分  
昼食

1時30分 3時30分  
集団的危機介入の練習(続き)

3時30分 4時30分  
修了証書の要件

4時30分 5時30分  
修了式

#### 4 おわりに

わが国においても危機介入や危機応答についての文献が見られるようになったが、NOVA の訓練コースのように、総合的かつ実践的な訓練コースは開発されておらず、また実施されていない。

わが国においても、NOVA の訓練コースを参照するなどして、本格的な危機応答チームのための訓練コースが開発され、またそれに基づいて危機応答チームによる本格的な活動が行われることが期待される。